

平成27年度 A 日程
学力検査問題

①

国 語

注 意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて7ページで、問題は□一から□四まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に
受検番号を書きなさい。
- 5 答えはすべて解答用紙の指定された欄に書きなさい。

受 検 番 号

受 検 番 号

□ 次の(一)～(五)の問いに答えなさい。

(一) 次の1～3の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

1 鳥が大空を旋回する。

2 昔からの習慣を踏襲する。

3 先輩に敬意を払う。

(二) 次の1～3の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

1 カクチヨウの高い文章である。

2 飛行機のソウジユウを学ぶ。

3 出発を翌日にノばす。

(三) 次の行書で書かれたア～エの漢字のうち、漢字を組み立てている部分の中の「かんむり」の筆順が、楷書で書く場合と異なっているものを一つ選び、その記号を書け。

ア 荷 イ 究 ウ 笑 エ 会

(四) 「人の意見や批評などを、心にとめないで聞き流すこと」という意味をもつ四字熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 行雲流水

イ 朝令暮改

ウ 神出鬼没

エ 馬耳東風

(五) 次の詩と文章を読み、後の1～5の問いに答えよ。

著作権保護のため、本文は掲載していません。

著作権保護のため、本文は掲載していません。

1 詩の中の——線部1の「運んでいる」において、「運んで」と「いる」の二つの文節はどのような関係にあるか。次のア、イ、エから一つ選び、その記号を書け。

ア 接続の関係 イ 並立の関係 ウ 補助の関係 エ 修飾・被修飾の関係

2 詩の中で用いられている表現についての説明として誤っているものを、次のア、イ、エから一つ選び、その記号を書け。

ア 第一連では、自分と針を対句で表現することで、情景を鮮明に描き出している。
イ 第二連では、心の中で反復している言葉の表現が、詩にリズムを生んでいる。
ウ 第三連では、体言止めを用いることによって、余韻を残す表現になっている。
エ 第四連では、擬態語を使って、小さな針の存在の魅力を印象的に表現している。

3 文章中の□に当てはまる言葉として適切なものを、詩の中から三字でそのまま抜き出して書け。

4 文章中の——線部2の「たち」は、ここではどのような意味で使われているか。その意味として最も適切なものを、次のア、イ、エから一つ選び、その記号を書け。

ア 状況 イ 性質 ウ 習慣 エ 達人

5 文章中の——線部3に「一枚の着物」とあるが、筆者はこれに対応するものは何だと考えているか。それを表した言葉として最も適切なものを、文章中から六字でそのまま抜き出して書け。

□ 二 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

著作権保護のため、本文は掲載していません。

著作権保護のため、本文は掲載していません。

- (一) 文章中から次の一文を抜いてあるが、文章中の「ア」「エ」のうち、どこに入れるのが最も適切か、記号で書け。

しかもそれはあまり意味がありません。

- (二) 文章中の□に当てはまる言葉として適切なものを、文章中から漢字二字でそのまま抜き出して書け。

- (三) 文章中の——線部に「それを科学的と称しているけれど、これでよいのでしょうか」とあるが、筆者はここでどういうことを述べようとしているか。その内容を、文章中の「科学的」、「賞味期限」の二つの言葉を必ず使って、「現代人が……行動しているのは、よくないということ。」の形になるように、五十字以上六十字以内で書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

- (四) この文章で述べられている内容と合っているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 近代文明社会を交換していくためには、終日人工照明の中で暮らすような現代人の日常生活を改め、科学に任せきりにせず、自然エネルギーを活用していかなければならない。

イ 近代文明社会を交換していくためには、生物学を学び、生きものについての理解を深めて、安全なものτσうでないものを自分で判断できるように、感覚を磨くべきである。

ウ 近代文明社会を交換していくためには、科学による「保証」の限界を知り、人間は生きものであるという感覚を取り戻すことが重要で、それは自律的に生きることでもある。

エ 近代文明社会を交換していくためには、一人一人が少しずつ生き方を変えることが大事で、科学的な考え方をするよりも、生きものの力を生かすことが正しい暮らし方である。

☐ 三 次の文章を読み、後の(一)・(二)の問いに答えなさい。

著作権保護のため、本文は掲載していません。

著作権保護のため、本文は掲載していません。

(一) 文章中の——線部1に「あれやこれやの自分探しの空しさ」とあるが、——線部1までの文章で、筆者はこのことをどのように述べているか。その内容を、次の条件1・2にしたがってまとめよ。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

条件1 全体を六十字以上八十字以内にまとめること。

条件2 解答は「あれやこれやの自分とは」で書き始めること。

(二) 文章中の——線部2に「本当に個性的な人間」とあるが、筆者は「本当に個性的な人間」とはどういう人間だと考えているか。また、そのような筆者の考えについて、あなたはどうか考えるか。次の条件1・3にしたがって書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

条件1 全体を八十字以上百字以内にまとめること。

条件2 最初に、筆者が考える「本当に個性的な人間」を説明し、次に、それに対する自分の考えを書くこと。

条件3 自分の考えについては、必ず、なぜそう考えるかという理由を明らかにして書くこと。

〔四〕 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

初学の人歌を詠まむとて、まづ最初詠まぬさきから、去り嫌ひを吟味し詞使ひを心得て詠まむとするほどに、覚束なく恐れてのみゐて、歌を詠むこと大抵にてはならず。これひがごとなり。まづいかやうにも構はず、我知らぬことはその分に打ち捨てて、覚えてゐるほどの才覚にて、思ふ通りを何事も構はず詠み出だし、さて歌出で来て後に、大概去り嫌ひなど吟味し整へて、さて人に見せるときに、我え心得ぬこと、誤りなどあれば、添削す。これにてかやうかやうの詞は詠まれず、かやうかやうは続かずと云ふやうの訳知ることなり。かくのごとくにして詠み習へば、自然と詠み方は覚えて、後にはいかやうとも心々の案じやうあり。善悪聞こゆる聞こえぬの分かち、その外の事も段々に知るることなり。しかるを歌詠まぬはじめより詠み方を工夫するは、何の用に立たぬ無駄ことなり。

(本居宣長「排蘆小船」による)

(注) 初学の人歌を詠まむとて：初心者、和歌を詠もうとして。

去り嫌ひ：和歌に詠みこむべきではないとされる言葉。

覚束なく：不安で。 ひがごと：誤り。

その分に打ち捨てて：自分の力量に応じてほうつておいて。

え心得ぬこと：わきまえられないこと。

善悪聞こゆる聞こえぬの分かち：和歌のよしあしや意味が通じる、通じないの区別。

(一) 文章中の——線部1の「いかやうにも」を現代仮名遣いに直して、——線部全部をひらがなで書け。

(二) 文章中の——線部2に「人」とあるが、これはどのような人だと考えられるか。その説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 和歌について最近学び始めた人。 イ 和歌についてよく理解している人。

ウ 和歌について学ぶ必要がある人。 エ 和歌について関心がない一般人。

(三) 文章中の——線部3に「詠み方を工夫する」とあるが、和歌の詠み方を理解した上で行う詠み手それぞれの工夫について述べている部分を、文章中から七字でそのまま抜き出して書け。

(四) この文章の構成や内容の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 和歌の学び方について、はじめに初心者が実際に行つた不適切な方法を述べた上で、その方法がよくない理由を解説し、最後に正しく理解することの大切さを主張している。

イ 和歌の学び方について、はじめに初心者にとって参考となる方法を述べた上で、その利点を多くの例をあげて分析し、最後に役に立たないと思われる方法にも言及している。

ウ 和歌の学び方について、はじめに初心者が取り組むべきだといわれている方法を述べた上で、これを自分自身の経験をもとにして否定し、最後に最もよい方法を紹介している。

エ 和歌の学び方について、はじめに初心者にみられる間違つた方法を述べた上で、適切だと考える方法を理由も含めて説明し、最後に誤つた方法について再度注意を促している。